

令和6年(2024年)度

事業報告書及び決算報告書

公益財団法人 神奈川文学振興会

目 次

令和6年(2024年)度 事業報告書及び決算報告書

I 事業報告書

1	理事会	1
2	評議員会	1
3	指定管理事業	2
(1)	文学資料の収集・整理・保存及び公開	
(2)	資料の複製	
(3)	展覧会の開催	
ア	特別展・企画展の開催	
イ	展覧会図録の刊行	
ウ	講演会・朗読会等の開催	
エ	オンライン事業	
(4)	各種行事の開催	
ア	子ども向け行事	
イ	学校教育連携事業	
ウ	他館等との共催・後援・協力・交流事業	
(5)	利用状況等	
ア	閲覧室の利用状況	
イ	特別資料の利用	
ウ	特別資料データのネット公開	
エ	ホームページの公開等	
オ	機関紙の発行	
カ	会議室の利用状況	
4	自主事業	14
(1)	閲覧室展覧会関連読書コーナー	
(2)	神奈川近代文学館懇話会	
(3)	神奈川近代文学館友の会	
(4)	山手周辺文学散歩(常設展関連企画)	
(5)	神奈川近代文学館を支援(サポート)する会	
(6)	博物館実習・教員社会体験研修等の実施	
(7)	その他の提携事業	
(8)	他館等との共催、他館等への後援等	
5	役員等に関する事項	19
(1)	顧問に関する事項	
(2)	役員に関する事項	
(3)	評議員に関する事項	
(4)	役員・評議員の異動に関する事項	
(5)	神奈川近代文学館懇話会に関する事項	

II 決算報告書

1	収支計算書	21
2	正味財産増減計算書	24
3	貸借対照表	27
4	財産目録	29
5	財務諸表に対する注記	30

令和6年(2024年)度事業報告書及び決算報告書

I 事業報告書

1 理事会

○第33回(通算第101回)

開催日 2024年5月14日(火)

出席理事 10人 出席監事 1人

- 議決事項
1. 令和5年(2023年)度事業報告及び決算報告について
 2. 第14回評議員会の召集について(新評議員、理事の推薦について)

○第34回(通算第102回:みなし決議に関する第34回理事会)

開催日 2024年12月30日(月)

理事全員からの書面による決議

- 議決事項
1. 令和6年(2024年)度予算の補正について

○第35回(通算第103回)

開催日 2025年2月21日(金)

出席理事 10人 出席監事 1人

- 議決事項
1. 令和6年(2024年)度予算の補正について
 2. 令和7年(2025年)度事業計画及び予算について

2 評議員会

○第14回(通算第74回)

開催日 2024年6月4日(火)

出席評議員 11人

- 議決事項
1. 令和5年(2023年)度事業報告及び決算報告について
 2. 評議員の選任について
 3. 理事の選任について

3 指定管理事業

(1) 文学資料の収集・整理・保存及び公開

○寄贈

図 書	3,567冊	
雑 誌	4,577冊	
特別資料	5,524点	
計	13,668冊(点)	寄贈者 798名

<2024年度寄贈の主なもの>

中村晋一郎氏	尾崎士郎宛尾崎一雄書簡、清子夫人宛士郎書簡、一雄に言及した士郎の日記、内山雨海による『人生劇場 風雲篇』装幀図案、執筆誌など480点。
小林晴子氏	庄野潤三文庫追加として、庄野「ぶらんこに乗った…」色紙、家族写真など17点。
富永眞弘氏	富永太郎の小学校時代の書画帖、「クリスマス・ローズ」ほか版画、『富永太郎詩集』、雑誌など14点。
櫻井路子氏	秋元不死男、島田青峰短冊など櫻井柳城氏旧蔵資料75点。
石井耕氏	安藤一郎、石垣りん、井上光晴、谷川雁、松永浩介ら『祖国の砂 日本無名詩集』収録詩人のプロフィール回答はがき、金達寿、宮原昭夫書簡、雑誌など、筑摩書房編集者だった石井立旧蔵資料260点。
古田文恵氏	古田足日資料追加として、[大きい1年生と小さな2年生]『おいしいのぼうけん』『宿題ひきうけ株式会社』『ダンプえんちょうやっつけた』『月の上のガラスの町』『ぼくらは機関車太陽号』『ロボット・カミイ』ほかの原稿、草稿、創作メモ、写真、著書など1,000点。
興津喜四郎氏	滝波善雅歌稿、肖像写真、神保光太郎原稿など36点。
甲斐正彦氏	清水良雄の「赤い鳥」「キンダーブック」挿絵・口絵原画、自画像、スケッチブック、書簡、肖像写真、遺品、鈴木三重吉書軸など、甲斐信枝氏旧蔵資料140点。
芥川正敬氏	飯田蛇笏句稿、土屋文明、前川佐美雄、結城哀草果、吉野秀雄らの歌稿、金子薫園宛梶田半古、相馬御風、佐近益栄宛井伏鱒二、渋谷玄耳宛与謝野晶子、与謝野寛書簡、北原白秋、平塚らいてう、与謝野晶子らの短冊・色紙、潮音社歌会での集合写真など、芥川徳郎氏旧蔵資料260点。
大岡かね子氏	大岡信文庫追加として、大岡の栗津則雄、谷川俊太郎、丸谷才一宛書簡、大岡宛茨木のり子、大江健三郎、加納光於、岸田衿子、ドナルド・キーン、白石かずこ、菅井汲、高橋睦郎、瀧口修造、谷川俊太郎、西脇順三郎、長谷川權、日野啓三、堀口大學、丸谷才一、三浦雅士、水尾比呂志、吉増剛造、村野四郎ほか書簡、関連印刷物など500点。
富浜利郎氏	まど・みちお「どうしてだろうと」詩稿、書「いいけしき」色紙など4点。
渡邊元彦氏	山本陽子の詩稿、クレパス画、書簡など20点。
庄野龍也氏、今村夏子氏	庄野潤三文庫追加として「詩集夕立」ほかの原稿、「青葉の笛」ほかの創作ノート、関連文書など180点。
田邊園子氏	井上靖「インダス河」「地中海」、北杜夫「宇宙戦争」、西脇順三郎「コップの黄昏」、堀口大學『『スバル』第八号』、三島由紀夫「喜びの琴」前書—ムジナの弁—、三島訳・ジェイムス・メルル著「微笑」、村野四郎「冬の河」原稿、田村隆一「凍る」草稿、氏宛池田満寿夫、茨木のり子、寺田透、野間宏書簡など93点。
廣瀬章氏	北原慧子氏宛北原武夫、井伏鱒二書簡、北原武夫の遺品、写真など100点。
原幾朗氏	原子朗宛安西均、大岡信、角野栄子、新川和江、那珂太郎、宮沢清六ほか書簡、雑誌「文芸首都」など688点。

- 中村光夫氏 「中村教材資料文庫」として収集された川上四郎、清水良雄、本田庄太郎ほかの挿絵原画、渋谷新次郎訳・ブッシュ『WAMPAKU MONOGATARI 1』、内海月杖『孝子画噺』（養老の巻）（白菊の巻）、鹿島鳴秋『オハナシ』（五巻揃）、『CINDERILLA』ほかのチャップブック、雑誌「家庭教育 絵ばなし」「コドモノクニ」「少年少女智識画報」など1500点。
- 長谷川櫂副理事長 大岡信書「ひとはみずから遙かなものを載せて動く波である」。
- 故・成瀬重人氏 中野孝次文庫追加として、中野宛「芸術選奨文部大臣賞」「日本芸術院賞」ほか賞状、中野関連のテレビ番組台本など9点。
- 鈴木恭子氏 中尾進資料追加として、雑誌「りべらる」表紙原画、油彩画「路地」（カミュ『異邦人』ジャケット原画）、海音寺潮五郎「天と地と」ほか挿画下絵、海音寺との取材旅行写真など20点。
- 芥川耿子氏 芥川文・比呂志宛恒藤恭、堀多恵子、芥川比呂志宛朝吹登水子、江藤淳、加藤周一、北杜夫、草野心平、佐多稲子、白井浩司、神西清、谷川俊太郎、中井英夫、中野重治、丸谷才一、三島由紀夫、芥川瑠璃子宛中村真一郎、野上弥生子、堀辰雄、三島由紀夫書簡、諸家署名献呈本など500点。
- 小木多加志氏 加賀乙彦資料として「錨のない船」ほかの原稿、日記、手帳、「フランドルの冬」ほかの創作ノート、書簡、写真、著書、執筆誌、「宣告」のモデル・正田昭の遺品、収集していた森鷗外の著書、創作ノートなど2400点。
- 故・岡野薫子氏 「ふたりのプリズム」原稿、装幀原画、書簡、写真、著書など70点。

○購入

図	書	404冊
雑	誌	1,458冊
特別資料		83点
計		1,945冊(点)

<2024年度購入の主なもの>

- 特別資料 広津和郎「明るさと暗さ」原稿、金子光晴「鮫」草稿、長谷川伸日記、創作ノート「素材雑載」、「長谷川伸上演番附集」ほか
- 図 書 尾崎紅葉『風流京人形』(M22)、志賀重昂『日本風景論』(M27)、尾崎紅葉、泉鏡花『なにかし』(M28)、森志げ『あだ花』(M43)、室生犀星『翡翠』(T14)、島田清次郎『地上』全4冊(T8～11)、千葉県三『ワンワンものがたり』(S4)、小川未明『雪原の少年』(S8)、矢野隆司『今東光[全年譜]』全2冊(R6)、『物語要素事典』(R6)、『中国日本〈漢〉文化大事典』(R6)ほか
- 雑 誌 「青い馬」(S6)、「荒地」(S15)、「鵲」(S10～15)、「金の船」(T9～10)、「コドモノクニ」(S14)、「四天王」(T4)、「磁場」(S6)、「春鶯囀」(T15)、「少國民文學」(S20)、「少女の友」(T4～S19)、「少年俱樂部」(T4～S27)、「新興文學」(T12)、「新小説」(M38～T15)、「新潮」(M37～41)、「短歌精神」(S16～17)、「帝國文學」(M35～T9)、「途上に現はれるもの」(T11～13)、「白金帖」(T4)、「不同調」(S2～3)、「若草」(S7)ほか

○所蔵状況

図 書	515,228冊	
雑 誌	562,687冊	
特別資料	252,518点	
登録資料小計	1,330,433冊(点)	
未登録資料	約 11,000冊(点)	
計	約1,342,000冊(点)	*登録資料は閲覧が可能です。
寄託資料	12人 3,864点	

○電算入力 (2024年度) (累計)

図 書	3,143冊	503,848冊(登録資料の97.8%)
雑 誌	7,080冊	554,484冊(登録資料の98.5% タイトル23,204誌)
特別資料	3,593点	245,835点(登録資料の97.4%)
計	13,816冊(点)	1,304,167冊(点)

*登録資料のうち、電算未入力分は手書き台帳による登録。

○整理済点数 (2024年度) (累計)

図 書	2,006冊	191,272冊 (登録資料の37.1%)
雑 誌	7,080冊	552,804冊 (登録資料の98.2%)
特別資料	2,017点	130,730点 (登録資料の51.8%)
計	11,103冊(点)	874,806冊(点)

○その他の入力

- ◇雑誌101誌2,052冊について各冊データの特集名を入力。
- ◇寄託資料受入データ3点について書誌を入力。
- ◇資料画像データ16,624件を作成。
- ◇画像登録用データ3,757件を作成。

○国立国会図書館への所蔵データ提供

「国立国会図書館サーチ」へのデータ提供を、次年度以降テキスト形式からAPI連携に切り換えるため、図書書誌データの再整備を行った。

(2) 資料の複製

○館蔵資料の中から複製を作製した。

<作製資料>

庄野潤三「舞踏」草稿、中島敦創作ノート「ノート第九」、夏目漱石「明暗」草稿、橋口貢宛夏目漱石自筆絵はがき([M37].10.24)、「鉢木会 八」連歌帖(S30.4.6)

(3) 展覧会の開催

ア 特別展・企画展の開催(関連講演会等も含む)

令和7年3月31日までの総観覧者数は、36,387人(1日平均133人)

(ア) 特別展「帰って来た橋本治展」

平成31年(2019)以降、ご家族、関係者から寄贈いただき、「橋本治文庫」として保存している

資料を中心に展示。時代を先取りし、人間と人間の生きた時代を描き出そうとした橋本治の生涯を辿った。B5判64頁の解説図録を作成して頒布した。

会期 4月2日(火)～6月2日(日) 56日間
※会期は3月30日(土)からの58日間
編集委員 松家仁之
後援 NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、tvk
協賛 新潮社、中央公論新社、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、
神奈川近代文学館を支援する会
広報協力 KAAT 神奈川芸術劇場
観覧者数 11,033人(1日平均197人)
3月30日(土)からの会期全体11,306人(1日平均194人)

<特別展開関連事業>

・講演と対談

期日 4月20日(土)
出演 松家仁之、柴岡美恵子
タイトル 「冗談と真情と」
参加者数 228人

・講演会

期日 5月3日(金・祝)
講師 橋爪大三郎
タイトル 「橋本治という時代」
参加者数 213人

・記録映像上映会

期日 5月25日(土)
上映作品 「豪華本『マルメロ草紙』はこうして生まれた—知られざる8年間の闘い—」
(2024年 テレビマンユニオン)
アフタートーク出演 浦谷年良、松家仁之
参加者数 207人

・スライドトーク(展示説明会)

期日 会期中毎週金曜日(5月3日を除く)に計8回開催
解説 展示担当者
参加者数 計289人

- (イ) 企画展「没後15年 庄野潤三展——生きていることは、やっぱり懐かしいことだな！」
庄野潤三とそのご家族から受贈した「庄野潤三文庫」資料と、遺愛の品などにより、川崎に長く暮らし、家族や知己との日常を細やかに記した小説や随筆など多くの作品を残した庄野の文学と生涯をたどった。B5判48頁の解説図録を作成して頒布した。

会期・日数 6月8日(土)～8月4日(日) 51日間
後援 NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、tvk
協賛 講談社、小学館、東急電鉄、横浜高速鉄道、
神奈川近代文学館を支援する会
広報協力 KAAT 神奈川芸術劇場
同時開催 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」第1部—夏目漱石から萩原朔太郎まで

観覧者数 4,307人(1日平均84人)

<企画展関連事業>

・トークイベント

期日 6月29日(土)
出演 江國香織、刈谷政則
演題 「物語の幸福」
参加者数 196人

・トークイベント

期日 7月13日(土)
出演 今村夏子、島田潤一郎
演題 「おとうくん、おかあくんの思い出」
参加者数 214人

・スライドトーク(展示説明会)

期日 会期中の土日に計3回開催
解説 展示担当者
参加者数 計64人

(ウ) 企画展「没後10年 古田足日のぼうけん」

ご家族から受贈した原稿や創作メモのほか、白梅学園に寄贈された旧蔵書や、田畑精一、久米宏一、堀内誠一らによる代表作の原画をもとに、子どもたちの生きる力になる新しい児童文学を追い求めた古田の軌跡を〈ぼうけん〉と捉え、生涯と作品をたどった。B5判32頁の解説図録を作成(本部事業)して頒布した。

会期・日数 8月10日(土)～9月29日(日) 47日間

編集委員 佐藤宗子、宮川健郎

特別協力 白梅学園大学・白梅学園短期大学、白梅学園大学附属白梅幼稚園、童心社

後援 神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、一般社団法人日本国際児童図書評議会(JBBY)、一般社団法人日本子どもの本研究会、一般社団法人日本児童文学者協会、NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、tvk

協賛 相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、神奈川近代文学館^{サボート}を支援する会

広報協力 KAAT 神奈川芸術劇場

観覧者数 4,297人(1日平均91人)

<企画展関連事業>

・講演会

期日 9月15日(日)
講師 酒井京子
演題 「『おいしいれのぼうけん』誕生の秘密」
参加者数 192人

・おはなし会・紙芝居会

期日 8月20日(火)、28日(水)
出演 童心社スタッフ
内容 『おいしいれのぼうけん』ほか絵本・紙芝居のよみきかせ
参加者数 計49人

・スライドトーク(展示説明会)

期日 会期中の土日祝に計3回開催
解説 展示担当者
参加者数 計109人

(エ) 特別展「安部公房展——21世紀文学の基軸」

初公開・初展示を含む数々の資料により、時代の先端をとらえ続けた表現者・安部公房の全貌に迫るとともに、21世紀の今日において安部作品のテーマが持つ意味を問い直した。A5判263頁の解説図録を編集(平凡社からの刊行)して頒布した。

会期・日数 10月12日(土)～12月8日(日) 52日間

編集委員 三浦雅士

アートディレクション 近藤一弥

後援 NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、tvk

協賛 新潮社、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、
神奈川近代文学館を支援する会

広報協力 KAAT 神奈川芸術劇場

観覧者数 11,319人(1日平均218人)

<特別展関連事業>

・対談

期日 10月27日(日)
出演 三浦雅士、近藤一弥
演題 「成長する壁と覗き穴」
参加者数 181人

・対談

期日 11月4日(月・振休)
出演 荻部直、鳥羽耕史
演題 「安部公房と戦後の政治・芸術運動」
参加者数 196人

・対談

期日 11月17日(日)
出演 川上弘美、三浦雅士
演題 「安部公房または『現在って何?』」
参加者数 203人

・映画会

期日 11月22日(金)、23日(土・祝)
上映作品 「砂の女」(1964年 勅使河原プロダクション)
共催 文芸映画を観る会
参加者数 計380人

・体験イベント

期日 11月29日(金)、12月4日(水)
「あなたも箱男になれる」体験イベント
参加者数 計77人

・スライドトーク(展示説明会)

期日 会期中毎週金曜日に計8回開催

解説 展示担当者

参加者数 計335人

※12月9日(月)～2025年1月4日(土) 展示替え、年末年始、荷物用エレベータ工事のため休室

(オ) 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち」第2部—芥川龍之介から中島敦まで

・中野孝次生誕100年記念ミニ展示を設置

・「文豪ストレイドッグス」とのコラボレーションを実施

会期・日数 令和7年1月5日(日)～3月9日(日) 57日間

編集委員 富岡幸一郎

協賛 横浜高速鉄道、神奈川近代文学館を支援する会

観覧者数 4,726人(1日平均83人)

(カ) 特別展「大岡信展 言葉を生きる、言葉を生かす」

会期 令和7年3月20日(木・祝)～3月30日(日) 10日間

※会期は5月18日(日)までの54日間

編集委員 三浦雅士

協力 大岡信研究会

後援 朝日新聞社、NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、tvk、読売新聞社

協賛 岩波書店、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道

神奈川近代文学館を支援する会

広報協力 KAAT 神奈川芸術劇場

観覧者数 705人(1日平均71人) *3月30日まで

イ 展覧会図録の刊行

特別展・企画展の手引き、資料として下記の図録を刊行し、希望者に頒布した。

(ア) 企画展「没後15年 庄野潤三展——生きていることは、やっぱり懐かしいことだな！」

(B5判 本文48頁 2,500部 頒価800円)

(イ) 企画展「没後10年 古田足日のぼうけん」(自主事業)

(B5判 本文32頁 2,000部 頒価700円)

(ウ) 特別展安部公房展図録「生誕100年 安部公房 21世紀文学の基軸」

(A5判 上製 本文263頁 頒価3,300円／平凡社から刊行)

(エ) 特別展大岡信展図録「大岡信 言葉を生きる、言葉を生かす」

(A5判 並製 本文176頁 頒価2,420円／出版社 港の人から刊行)

ウ 講演会・朗読会等の開催

(ア) 開館40周年記念企画「文学・どこへゆくのか」第Ⅱ・Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」

会場 神奈川近代文学館 展示館ホール

聞き手・ナビゲーター 湯川豊、尾崎真理子

第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」①

期日 4月7日(日)

出演 辻原登

参加者数 154人

第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」②

期日 4月27日(土)

出演 池澤夏樹

参加者数 190人

第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」③

期日 5月18日(土)
出演 小川洋子
参加者数 205人

第Ⅱ期「作家が受け継ぐもの」④

期日 6月16日(日)
出演 平野啓一郎
参加者数 195人

第Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」①

期日 10月14日(月・祝)
出演 宮部みゆき
参加者数 200人

第Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」②

期日 令和7年1月26日(日)
出演 江國香織
参加者数 189人

第Ⅲ期「作家が受け継ぐもの」③

期日 令和7年3月2日(日)
出演 松家仁之
参加者数 105人

最終回・対談「文学・どこへゆくのか」

期日 令和7年3月30日(日)
出演 湯川豊、尾崎真理子
参加者数 119人

(イ) DVD上映会

期日 8月10日(土)
上映作品 「被爆とわたくし」
参加者数 16人
会場 神奈川近代文学館 展示館中会議室

(ウ) 花音朗読コンサート

期日 9月7日(土)
出演 語りと音楽・花音
演題 「没後10年 古田足日のぼうけん」に寄せて
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
共催 語りと音楽・花音
参加者数 111人

(エ) 開館40周年記念 かなぶん寄席「笑門来福落語会」

期日 10月19日(土)
出演 金原亭馬生、古今亭菊春、金原亭馬治／司会：荻野アンナ(金原亭駒ん奈)
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
参加者数 207人

(オ) かなぶん連句会

期日 令和7年1月19日(日)
出演 小島ゆかり、辻原登、長谷川權
題 「東京タワーの巻」
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
後援 「ウェブ望星」
参加者数 120人

(カ) 文字・活字文化の日記念行事

10月25日(金)当日に限り観覧料を無料にしました。
・スライドトーク(会場:展示館エントランスホール) 参加: 34人
・バックヤード見学参加: 19人
・プレゼント抽選
展示観覧者を対象に図録バックナンバーやミュージアムグッズを抽選でプレゼントしました。

エ オンライン事業

(ア) ホームページの拡張

・公式noteに機関紙「神奈川近代文学館」寄稿エッセイ等を転載

(イ) 安部公房展特設サイトの開設

・展示会の部門解説、出品資料画像、イベント情報などを掲載したほか、会期中に内覧会スピーチや記念対談のダイジェスト動画を公開するなど順次更新した。

(ウ) 講演会音声等の公開

・開館40周年を記念して、1980年10月に開催された文学館建設推進文芸講演会から、尾崎一雄講演「この頃思うこと 文学館は何故必要か」を公式ホームページ等で公開した。

2024年度公開 コンテンツ	講師	公開日	視聴数
文学館建設推進文芸講演会 「この頃思うこと 文学館は何故必要か」	尾崎一雄	10/14	671

2024年末時点、25の講演会動画等コンテンツを公開。2020年度からの視聴数は累計88,699件。

(4) 各種行事の開催

ア 子ども向け行事

(ア) ミュージアム・ミッション2024

近隣の博物館を巡るクイズラリー。
中区、西区の施設で協力した夏休みの子ども向け企画
期間 7月20日(土)～9月1日(日)
参加者数 114人(当館来館人数)

(イ) かなぶんキッズクラブ

a 紙芝居がはじまるよ!

①期日 8月11日(日・祝)
出演 山下康
作品 「ぼくのへやにうみがある」ほか
会場 神奈川近代文学館 展示館中会議室

- 参加者数 46人
- ②期日 令和7年3月28日(金)
- 出演 山下康
- 作品 「くれよんさんのけんか」ほか
- 会場 神奈川近代文学館 展示館中会議室
- 参加者数 35人
- b 子ども映画会
- ①期日 8月14日(水)、15日(木)
- 上映作品 「いたずら猫とそうじき」ほか
- 会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
- 参加者数 計208人
- ②期日 令和7年3月26日(水)
- 上映作品 「トムとジョン・ジョンのつくったおかし」ほか
- 会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
- 参加者数 153人
- c ワークショップ
- 期日 8月24日(土)
- 講師 堀内紅子
- 演題 「ロボット・カミイのなかまたちをつくろう！」
- 参加者数 計62人(午前、午後の2回開催)

イ 学校教育連携事業

(ア) 図書館等巡回パネル展の実施

開催期間	パネル展名称	共催者名／会場	利用者数
5月1日(水)～5月31日(金)	「森鷗外展」	県立神奈川総合産業高等学校	100
5月13日(月)～6月5日(水)	「中島敦展」	県立横須賀高等学校	754
5月22日(水)～6月24日(月)	データ版「中島敦展」 「与謝野晶子展」	東京純心女子高等学校	1,000
6月3日(月)～6月28日(金)	「中島敦展」	捜真女学校高等学部	300
6月12日(水)～7月12日(金)	「太宰治展」	県立永谷高等学校	165
6月13日(木)～7月3日(水)	「中島敦展」	玉川学園	1,571
6月17日(月)～6月25日(火)	「佐藤さとる展」	横浜女学院中学校高等学校	40
7月10日(水)～8月31日(土)	データ版「夏目漱石展」	県立神奈川総合産業高等学校	100
9月3日(火)～9月8日(日)	「夏目漱石展」	県立大和西高等学校	300
9月4日(水)	「与謝野晶子展」	県立西湘高等学校	265
9月6日(金)～9月7日(土)	「夏目漱石展」	県立金井高等学校	355
9月13日(金)～10月11日(金)	「夏目漱石展」	県立港北高等学校	300
9月13日(金)～10月15日(火)	「中島敦展」 「与謝野晶子展」	県立川崎高等学校	582
9月27日(金)～10月4日(金)	「与謝野晶子展」	フェリス女学院高等学校	600
9月27日(金)～10月26日(土)	「太宰治展」	横浜市立岡津中学校	550

9月30日(月)～10月28日(月)	「夏目漱石展」	玉川学園	1,620
10月1日(月)～11月8日(金)	データ版「中島敦展」	県立神奈川総合産業高等学校	100
10月3日(木)～10月28日(月)	「太宰治展」	県立横浜修悠館高等学校	200
10月11日(金)～10月18日(金)	「太宰治展」	二宮町立二宮中学校	150
10月16日(水)～11月15日(金)	「夏目漱石展」	横浜市立仲尾台中学校	701
10月21日(月)～11月8日(金)	「中島敦展」	川崎市立幸高等学校	230
11月5日(火)～11月22日(金)	「夏目漱石展」	東京都立桜修館中等教育学校	170
11月18日(月)～12月5日(木)	「太宰治展」	横浜市立新羽中学校	200
11月18日(月)～12月13日(金)	「夏目漱石展」	鎌倉市立手広中学校	59
11月19日(火)～12月18日(水)	「太宰治展」	県立横浜水取沢高等学校	243
11月20日(水)～12月20日(金)	「中島敦展」	県立永谷高等学校	198
12月2日(月)～12月23日(月)	「中島敦展」	県立横須賀南高等学校	170
12月9日(月)～1月15日(水)	「太宰治展」	県立愛川高等学校	140
1月9日(木)～1月31日(金)	「太宰治展」	県立神奈川総合産業高等学校	100
2月5日(水)～3月5日(水)	「太宰治展」	横浜女学院中学校高等学校	235
2月6日(木)～2月25日(火)	「太宰治展」	横浜雙葉中学高等学校	300

2024年(令和6年)度中学、高等学校等へのパネル展提供のべ31校11,798人

*2008年度からの累計のべ339校283,090人(公共図書館を含む)

(イ) その他各種事業の実施

a 神奈川県高等学校文化連盟図書専門部会との共催イベント

期日 内容

5月19日(日) 生徒研修会・ビブリオバトル準備会(参加 16人)

7月27日(土) 第12回ビブリオバトル神奈川予選(参加 93人)

8月23日(金) バックヤード見学、図書館報コンクール準備会(参加 22人)

11月24日(日) 図書館報コンクールと講演会(講師:大崎梢 参加 75人)

令和7年1月18日(土) 生徒研修会・ワークショップ(参加 24人)

(会場:神奈川近代文学館 展示館ホールほか)

b 神奈川県立総合教育センター研修講座

共催 神奈川県立総合教育センター

期日 8月9日(金)

事業名 国語の授業づくり研修講座及び施設見学

会場 神奈川近代文学館 展示館ホール

参加者数 25人

c 神奈川大学国際日本学部日本文化学科開講授業

主催 神奈川大学国際日本学部

期日 11月7日(木)、10日(日)

内容 授業、展示解説、安部公房展観覧

会場 神奈川近代文学館 展示館ホールほか

参加者数 60人

d 横浜国立大学教職大学院フィールドワーク

期日 令和7年2月2日(日)

テーマ 「国語の教材デザイン論と実践」

	「教育資源、地域資源としての文学館」
会場	神奈川近代文学館 本館特別会議室
共催	横浜国立大学教職大学院一柳廣孝教授ゼミ
参加者数	5人

ウ 他館等との共催・後援・協力・交流事業

(ア) 神奈川県子ども読書活動推進フォーラム

主催	神奈川県立図書館
共催	神奈川県子ども読書活動推進会議、神奈川県図書館協会
後援	神奈川県立神奈川近代文学館 公益財団法人神奈川文学振興会
期日	12月8日(日)
内容	第1部 事例発表 東洋英和女学院大学図書館サポーターWELL(ウェル) 第2部 講演「本を装う ブックデザインの世界」 講師:名久井直子
会場	神奈川県立図書館本館4階学び⇄交流エリア

(5) 利用状況等

ア 閲覧室の利用状況

(ア) 利用者数	6,104人(開室日数296日 1日平均20.6人)
(イ) レファレンス件数	202件
(ウ) 複写サービス	698件 19,872枚

イ 特別資料の利用

(ア) 資料の閲覧	251件 16,428点
(イ) 資料の貸出	13件 158点

(調布市武者小路実篤記念館「仙川の家―武者小路実篤、終の住処での20年―」ほか類似施設の特
別展など)

(ウ) 写真の撮影	41件 282点
(エ) 写真の貸出	85件 578点

ウ 特別資料データのネット公開

原稿、自筆資料、書簡など2023年度受入データ3,173件が新たにインターネット上で検索可能となっ
た。

特別資料検索利用登録者 148人(累計2,929人)

夏目漱石デジタルアーカイブ延べユーザー数:20,644

中島敦直筆資料デジタルアーカイブ延べユーザー数:25,471

エ ホームページの公開等

(ア) 神奈川近代文学館ホームページアクセス数 325,392件

(イ) 安部公房展特設サイトアクセス数 39,764件

(ウ) SNSでの発信

公式X(フォロワー数 9,422人)、公式インスタグラム(フォロワー数 610人)では展覧会情報
や所蔵資料について発信

オ 機関紙の発行

機関紙「神奈川近代文学館」第164号から第167号までを4、7、10月、令和7年1月に発行。

カ 会議室の利用状況

利用状況			＜利用回数の内訳＞	
会議室名	利用回数	利用人数	俳句会、短歌会等	61回
小会議室	168回	1,860人	朗読会、読書会等	10回
中会議室	106回	3,643人	歴史文学	1回
和 室	81回	742人	その他(文学関係)	28回
ホ ー ル	43回	5,088人	その他	298回
計	398回	11,333人		

4 自主事業

(1) 閲覧室展覧会関連読書コーナー

展覧会観覧者に主題となっている作家の著書、研究書などを提供するため、閲覧室に展覧会関連読書コーナーを設置し、展示室と閲覧室との連携を図る。

- ・特集・橋本治 4月2日(火)～6月2日(日)
- ・特集・庄野潤三 6月8日(土)～8月4日(日)
- ・特集・古田足日 8月10日(土)～9月29日(日)
- ・特集・安部公房 10月12日(土)～12月8日(日)
- ・特集・芥川龍之介 令和7年1月5日(日)～3月9日(日)
- ・特集・大岡信 令和7年3月20日(木・祝)～3月30日(日)

(2) 神奈川近代文学館懇話会

第15回

開催日 12月3日(火)

出席 13人

報告 令和6年度の主な事業実績について

懇談 これからの文学館についてほか

(3) 神奈川近代文学館友の会

ア 会員に、機関紙の無料配布、展覧会への招待、文学講座等への優待を行った。

会員数 1,034人

イ 友の会の会員の集い

期日 7月13日(土)

参加者数 20人

ウ 友の会文学講座(企画展「没後15年 庄野潤三展」記念行事)

期日 7月13日(土)

講師 今村夏子、島田潤一郎

演題 「おとうくん、おかあくんの思い出」

参加者数 214人

エ 文学散歩－近隣施設や県内外の文学ゆかりの地を訪ねた。

(ア) 川崎・多摩文学散歩

期日 6月5日(水)、14日(金)

コース 川崎市立日本民家園、庄野潤三旧宅ほか

参加者数 計40人

(イ) 仙川文学散歩

期日 11月27日(水)、29日(金)、12月4日(水)

コース 調布市武者小路実篤記念館、安部公房旧宅跡、世田谷文学館ほか

参加者数 計55人

(ウ) 近隣の類似施設訪問

期日 令和7年2月5日(水)

コース ニュースパーク(日本新聞博物館)

参加者数 計21人

オ 読書会

期日 令和7年2月19日(水)、25日(火)

課題本 遠藤周作「沈黙」

参加者数 計19人

(4) 山手周辺文学散歩(常設展関連企画)

期日 令和7年2月9日(日)、23日(日・祝)

コース 横浜外国人墓地、大正活映撮影所跡、元町幼稚園ほか

参加者数 計25人

(5) 神奈川近代文学館を支援する会

会員数 102名(142口)

特別展、企画展、常設展への協賛

紹介状等により会員を募り、会員に特別展等の広報協力を呼びかけた。

神奈川近代文学館懇話会会員との総会を兼ねた懇親会を実施。

期日 12月3日(火)

参加者数 28人

(6) 博物館実習・教員社会体験研修等の実施

<博物館実習>

6月5日(木)、8月21日(水)～24日(土)の5日間 6大学 6人

<職業体験>

6月28日(金)横浜市立南中学校生徒 2人

(7) その他の提携事業

・特別展及び企画展ポスター、チラシ等の駅貼り、設置強化支援

東急電鉄、相模鉄道、京急電鉄、横浜高速鉄道の協賛、協力により、一層の周知を図った。

(8) 他館等との共催、他館等への後援等

ア 共催事業

(ア) 日本キリスト教文学会2024年度第53回全国大会

期日 5月11日(土)、5月12日(日)
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
参加者数 86人

(イ) 昭和文学会2024年度春季大会

期日 6月8日(土)
基調講演 斎藤美奈子
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
参加者数 227人

(ウ) 第18回2024年度遠藤周作学会・全国大会

期日 9月21日(土)
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
参加者数 50人

(エ) 特別展「安部公房展—21世紀文学の機軸—」記念上映会(共催:文芸映画を観る会)

期日 11月22日(金)、23日(土)
上映作品 「砂の女」(1964年 勅使河原プロダクション)
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
参加者数 合計380人

(オ) 令和6年度関東甲信越静地区図書館職員研修

期日 12月10日(火)、11日(水)
会場 神奈川近代文学館 展示館ホールほか
参加者数 80人

(カ) フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト朗読会

主催 フェリス女学院大学附属図書館読書運動プロジェクト
期日 2025年2月16日(日)
テーマ 「読書運動プロジェクト朗読会 あらたな、たびへ。—大切な出会いのために—」
朗読作品 サン＝テグジュペリ作「ちいさな王子」ほか
会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
参加者数 55人

イ 後援事業

(ア) 神奈川文芸賞2024

主催 神奈川新聞社
期日 4月1日(月)～6月30日(日)募集、令和7年1月発表

(イ) Wikipediaブンガク「橋本治」

主催 Wikipediaブンガク実行委員会
期日 4月14日(日)
会場 神奈川近代文学館 展示館中会議室

(ウ) 吉里吉里忌2024

主催 吉里吉里忌実行委員会、山形県川西町、井上事務所

- 期日 4月14日(日)
 講師 小曾根真ほか
 会場 山形県川西町フレンドリープラザ
- (エ) 大衆文学研究会神奈川支部研究例会
 主催 大衆文学研究会神奈川支部
 期日 4月27日(土)、6月29日(土)、9月28日(土)、11月30日(土)
 会場 神奈川近代文学館 展示館中会議室
- (オ) 夏目漱石参禅130年記念企画 新感覚で語る『門』
 主催 鎌倉漱石の會
 期日 6月8日(土)
 出演 朗読:今井理恵子、二宮由美、葉月のりこ 音楽:村木充
 会場 円覚寺 帰源院
- (カ) 大佛次郎研究会第38回公开发表会
 主催 大佛次郎研究会、大佛次郎記念館
 期日 6月9日(日)
 講師 辻原登ほか
 会場 神奈川近代文学館 展示館ホール
- (キ) Wikipediaブンガク「安部公房」
 主催 Wikipediaブンガク実行委員会
 期日 11月3日(日・祝)
 会場 神奈川近代文学館 展示館中会議室ほか

ウ 協力事業

- (ア) 日本近代文学館「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅱ——中島敦「山月記」とその時代」展
 主催 日本近代文学館
 会期 6月22日(土)～9月7日(土)
 会場 日本近代文学館
- (イ) かながわ教育月間
 主催 神奈川県教育局総務室
 期間 10月1日(火)～11月3日(日・祝)
 協力事業 「安部公房展——21世紀文学の基軸」
- (ウ) なか区ブックフェスタ2024
 主催 なか区ブックフェスタ実行委員会
 期日 10月1日(火)～11月30日(土)
 協力事業 「安部公房展——21世紀文学の基軸」ほか
- (エ) 第18回横浜山手芸術祭
 主催 横浜山手芸術祭実行委員会
 期日 令和7年1月23日(木)～2月25日(火)
 協力事業 常設展「文学の森へ 神奈川と作家たち 第2部 芥川龍之介から中島敦まで」ほか
- (オ) 文豪ストレイドッグス大博覧会 第二幕での文学資料展示協力

日時 2024年8月7日(水)～8月26日(月)

主催 KADOKAWA

会場 高崎高島屋 6階催場

エ 寄稿・出演

(ア) 「神奈川新聞」イマカナ 文化欄への寄稿

執筆 展示課職員

掲載 橋本治 4月29日(月)、5月6日(月・振休)
庄野潤三 7月8日(月)
古田足日 9月2日(月)
安部公房 11月4日(月・振休)、11月7日(木)

(イ) 「定年時代」への寄稿

執筆 展示課職員

掲載 橋本治 5月7日(火)横浜・川崎版
庄野潤三 7月1日(月)東京版、横浜・川崎版
安部公房 11月5日(火)横浜・川崎版、11月18日(月)東京版

(ウ) 「SUNDAY APRICOT GARDEN」

放送 FMおだわら

解説 展示課職員、宮崎いずみ(語りと音楽・花音)

放送内容 橋本治 4月28日(日)、5月5日(日・祝)
庄野潤三 7月7日(日)
古田足日 9月8日(日)
安部公房 10月27日(日)、11月3日(日)
中野孝次ほか 令和7年2月23日(日・祝)

(エ) 「公明新聞」への寄稿

執筆 展示課職員

掲載 庄野潤三 6月7日(金)

(オ) 「横浜シニア大学」自主講座

主催 保土ヶ谷区老人クラブ連合会

期日 7月9日(火)

内容 「小説家・庄野潤三と神奈川」

講師 展示課職員

(カ) 横浜女学院中学・高等学校への協力

期日 令和7年2月10日(月)

内容 太宰治についての講座
ブッククラブ(課題「人間失格」)へアドバイザーとして参加

講師 事務局長

5 役員等に関する事項

(1) 顧問に関する事項(令和7年3月31日現在)

○顧問数 3人

○顧問名簿

安西 篤子 黒岩 祐治
山中 竹春

(2) 役員に関する事項(令和7年3月31日現在)

○役員数 13人

代表理事 1人 業務執行理事 2人
理事 8人 監事 2人

○役員名簿

理事長(代表理事)

荻野 アンナ

副理事長(業務執行理事)

長谷川 權

専務理事(業務執行理事)

清原 康正

(理事)

尾崎 真理子 佐藤 宗子 新保 祐司
辻原 登 富岡 幸一郎 藤沢 周
堀江 敏幸 八木 幹夫

(監事)

永峰 潤 松森 繁

(3) 評議員に関する事項(令和7年3月31日現在)

○評議員数 14人

○評議員名簿

秋山 理砂 太田 治子 三枝 昂之
澤 茂樹 関谷 裕子 司 修
蜂飼 耳 春名 徹 平山 周吉
復本 一郎 富士川 義之 宮川 健郎
宮坂 覺 林 淑 美

(4) 役員・評議員の異動に関する事項

○役員の異動

就 任		
理事長	荻野 アンナ	令和6.4.1
理事	堀江 敏幸	令和6.6.4

退 任		
理事長	辻原 登	令和6.3.31 (理事留任)

○評議員の異動

就 任		
評議員	澤 茂樹	令和6.6.4

(5) 神奈川近代文学館懇話会に関する事項(令和7年3月31日現在)

○懇話会員数

76人

○懇話会員名簿

(会 長)	黒井 千次	春名 徹
復本 一郎	黒岩 祐治	日高 昭二
(幹事長)	紅野 謙介	平山 周吉
蜂飼 耳	小玉 晃一	福島 俊彦
(会 員)	三枝 昂之	福田 美鈴
青木 幸恵	西郷 公子	富士川義之
青野 聰	佐藤 宗子	藤沢 周
秋山 理砂	佐藤 裕子	堀江 敏幸
荒俣 宏	澤 茂樹	松沢 成文
安西 篤子	島田 雅彦	松信健太郎
伊井 直行	志村 有弘	松信 裕
飯塚 容	新保 祐司	松森 繁
太田 治子	鈴木 健次	黛 まどか
荻 悦子	関谷 裕子	丸山 孝
荻野アンナ	高田久美子	水原 紫苑
尾崎左永子	竹口 秀夫	宮川 健郎
尾崎名津子	田沼 光明	宮坂 覺
尾崎真理子	千葉 俊二	八木 幹夫
勝又 浩	司 修	山崎 洋子
加藤 種男	辻原 登	山下 真史
禿 慶子	富岡幸一郎	山中 竹春
川村 湊	永峰 潤	山中 恒
川本 三郎	縄田 一男	山本 道子
紀田順一郎	南原 幹雄	林 淑 美
北方 謙三	長谷川 權	涌田 佑
清原 康正	馬場あき子	
桐生 勇	林 文子	